



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)ハート・せながわ 新築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点	満点	取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8	/5			ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5			がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5			ふつつ	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点				3.8	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③クリア対策/④部品・部材の耐用年数) ④給水(B)、給湯(B)、排水(B)、Eは不使用。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI_m=0.70、⑨BEI_m=0.76。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、省水型機器(例えば擬音、節水型便器など)などを用いている。⑫LGS使用している。⑬ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して80%。 	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備	
			3.2	3.2.1	③	屋光制御	
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
			2.2.2	2.2.3	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
		2.2.4	2.2.4	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
		2.2.4	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
		2.2.5	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
		2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
		2			⑧	自然エネルギー利用	
		3			⑨	設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩	モニタリング	
			4.2		⑩	運用管理体制	
	LR-2	1	1.1		⑪	節水	
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
		2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減	
				2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用	
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材	
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮	
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点				2.9	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。 	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
				2.1.2	⑯	免震・制振性能	
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
			2.4.2	2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
			2.4.3	2.4.3	⑰	電気設備	
			2.4.4	2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
			2.4.5	2.4.5	⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点				3.4	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱共用部分・階高=3.9m ⑲共用部分:0.1≦[壁長さ比率]<0.3 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり	
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ	
	Q-3	3	3.1		⑳	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点				2.5	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) 特になし。 ■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) 特になし。 	Q-3	1			㉒	生物環境の保全と創出	
		2			㉒	まちなみ景観への配慮	
		3	3.2			㉒	敷地内温熱環境の向上
	LR-3	2	2.2		㉓	温熱環境悪化の改善	

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ハート・せながわ 新築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県静岡市葵区瀬名川一丁目13-1、14-1	構造	木造
用途地域	一種中高専、防火地域 指定なし	平均居住人員	200 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年08月 予定	評価の実施日	2020年10月09日
敷地面積	2,219 m ²	作成者	中村 博臣
建築面積	1,327 m ²	確認日	2020年10月12日
延床面積	2,556 m ²	確認者	戸島 和行



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 CASBEE 静岡2016年版による評価結果 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 共用部分: 2.5% ≤ [昼光率] 宿泊部分: 1.25% ≤ [昼光率] ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 共用部分: 階高 = 3.9m 共用部分: 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m = 0.70 BEI _m = 0.76	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器 (例えば擬音、節水型便器など) を用いている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物 (参照値) に対して80%。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される